週刊観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体(観光全般)
第2部
ツーリズムEXPOジャパン
特集

ツーリズムEXPOジャパン2019

初めて大阪・関西で開催

10月24～27日　インテックス大阪、ハイアットリージェンシー大阪

日本観光振興協会と日本旅行業協会(JATA)、日本政府観光局(JNTO)は10月24日から27日まで、国内、海外、訪日の旅行振興を図るとともに、国内外に観光立国をアピールするため、世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西」を開く。会場は大阪市のインテックス大阪、ハイアットリージェンシー大阪。事業効果の高い同イベントを通じて観光交流による成長を全国に波及させるため、万博決定やIR誘致で注目の集まる大阪・関西で初めて開催する。

関西ならではの「観光による地方創生」と「新しいツーリズムのカタチの創造」「ゲートウェイ関西の魅力とパワーの再発見」にポイントを置き、観光の未来を示すさまざまな情報を発信する。

「私の旅は、次のステージへ。」をテーマとして、フォーラム&セミナー、展示商談会、顕彰事業、交流会の4事業で展開。併せて、「インバウンド・観光ビジネス総合展2019」やJNTO主催「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2019」(VJTM)も同時に開催される。

特別協力に全国旅行業協会(ANTA)。国土交通省、国土交通省観光庁、総務省、外務省、スポーツ庁、文化庁、農林水産省、経済産業省、環境省などが後援。来場目標は13万人(東京開催の昨年は20万7千人)。

フォーラム&セミナーでは、「持続可能な発展のために、今こそ観光の役割を果たす!」を全体テーマに、世界の観光のキーパーソンが一堂に会する。18カ国・地域の観光大臣や世界の観光機関代表者が「人と文化による地域活性化」をテーマに議論を深める「第23回TEJ観光大臣会合」や、「デジタルマーケティング」「海外旅行」「エンターテインメント」の各課題を検討するテーマ別のシンポジウムなどを開催する。

デジタルマーケティング・シンポジウムは「観光デジタルマーケティング 活用事例から考える今と未来」(仮)をテーマに、デジタルマーケティングを活用した日本や世界の先駆的な取り組み事例を紹介しつつ、観光産業の近未来を語る。エンターテインメント・シンポジウムは、「エンターテインメントで地域を元気に!」をテーマに、エンターテインメントが地域の持続可能な成長や、観光の持続的な発展にどのように貢献しているのかを共有し、課題などを議論する。

展示商談会には世界100以上の国・地域と国内47都道府県から観光・旅行関係者が参加する。昨年に引き続き4日間の開催。業界日の24、25日は展示会場全体を商談の場とする。国内、海外、訪日の旅行商品造成・企画責任者と出展者によるアポイントメント制を採用し、5500セッションのビジネスアポイントメント数を予定している。

交流会「ウェルカム・レセプション」は24日午後6時30分から開催。VJTMを含めた出展者、協賛者、商談会参加者ら3千人が集い、ビジネス創出のネットワーキングの場として展開される。ステージでは、「だんじり」や「河内音頭」など大阪・関西を中心に日本文化を世界に発信する。

顕彰事業として、国内、海外の持続可能で優れた取り組みを表彰する「第5回ジャパン・ツーリズム・アワード」の表彰式を24日に開催する。

開会式では国連世界観光機関(UNWTO)事務局長のズラブ・ポロリカシュヴィリ氏がウェルカム・スピーチ。基調講演で建築家の安藤忠雄氏が「心に残る旅」をテーマに、建築の仕事を通して考え続けてきた、これからの都市の在り方について語る。

ツーリズム産業とIR(統合型リゾート)をつなぐ国内初のイベント「ゲーミングEXPO2019」、訪日観光ビジネスに関わる企業、団体が出展する「インバウンド・観光ビジネス総合展」も同時開催される。

また、2020年のツーリズムEXPOジャパンは、初めて沖縄で開催。沖縄を世界の国際海洋リゾートとしてアピールする最高の機会とし、海洋を軸とした国際会議、エコツーリズムや星空ツーリズム、アドベンチャーなど沖縄にふさわしいテーマのシンポジウムなどを行う。開催日は20年10月29日～11月1日。会場は宜野湾市の沖縄コンベンションセンターと周辺施設。3万6千人の来場を見込んでいる。

世界最大級 旅の祭典

国内・海外・訪日旅行を振興

近畿日本ツーリスト
すすすす